

授業科目名	保育相談支援(2100207)		
時間割名	保育相談支援(33109)		
時間割担当	岡村季光		
実施期	後期	単位数	2 選択
曜日・時限	水・3		

授業の目標・概要

幼児教育の対象となる、子どもの心の理解と内面の理解の重要性を学ぶ。また、理解の方法を知るだけでなく具体的な事例を通して保護者への対応の方法や幼児理解と教育相談のあり方について全般的に学ぶ。

学習の到達目標

- ・ 幼児を理解する方法について、その手法を学ぶ。
- ・ 具体的な事例を通して理解の重要性を確認し、対応のあり方について学ぶ。
- ・ 保育の中で子どもを理解する方法について学ぶ。
- ・ 保育者の専門性として大切な、カウンセリングマインドや保育者の役割を学ぶ。
- ・ 幼児を理解し、保護者に対応する手法を身に付け、子育て支援の基礎を学ぶ。

授業方法・形式

- ・ それぞれの学習テーマに対して、テキストや補助資料を活用しながら授業を進めていく。
- ・ 必要に応じて、取り上げるテーマに関するディスカッションを行う。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション
『幼稚園教育要領解説』からみた保育相談支援の必要性とは。
- 第2回 保育相談の傾向
保育相談の増加とその傾向とはどのようなものか。
- 第3回 幼児と保護者を理解するための基本
幼児と保護者をとりまく環境はどのようなものであるか。
- 第4回 幼児の発達の理解
ピアジェ・ワロン・エリクソンの発達理論の共通点と相違点とは。
- 第5回 保育相談にかかわる理論
精神分析・行動理論・人間性心理学その他各種理論について。
- 第6回 カウンセリングマインド
ロジャーズが提唱したカウンセリング理論から言えるカウンセリングマインドの要諦とは。
- 第7回 幼稚園における子育て支援
幼稚園と家庭をつなぐ具体的な方法について、教師の専門性とは何か。
- 第8回 保育相談のPDCAサイクル
保護者支援の計画・記録・評価・カンファレンスにおける一連の流れについて。
- 第9回 保護者への相談支援
保護者の養育力の向上のための支援とは。
- 第10回 地域とのかかわりと保育相談
地域資源をどのように活用していくか。
- 第11回 各種関連機関との連携
様々なケースに応じた各種機関との連携をどのように深めるか。
- 第12回 幼児理解の事例研究
遊びや活動の中での幼児理解についての事例を取り上げて考察する。
- 第13回 問題行動に関する事例研究
問題行動を発達の契機としてとらえるための事例を取り上げて分析する。
- 第14回 障がいのある子どもの理解
発達障がいやその他障がいをもつ子どもと保護者にどう向かい合うのか。
- 第15回 幼児理解と保育相談の総括
これからの幼稚園の新たな役割とは。子どもの最善の利益とは何か。

成績評価の基準

必要に応じて授業中に行う小テストを中心に評価し、授業に対する理解度をチェックする(30%)。さらに学期末テストにおいて総合的な理解を確認する(70%)。

授業時間外の課題

授業終了後は授業で指示したテキストの該当箇所を読み、ノートにまとめる。小テストで理解できていない箇所は必ずテキストで該当箇所を調べる。

メッセージ

- ・ 第1回目の授業で詳細についてオリエンテーションを行いますので、必ず出席をすること。

教材・教科書

授業中に指示します。

参考書

- 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』内閣府
- 『幼稚園教育要領解説』文部科学省
- 『保育所保育指針』厚生労働省